

平成30年3月5日付【水道産業新聞】
 東北支部＜水コン協と災害協定締結＞
 仙台市 専門技術力で迅速な復旧を

水コン協と災害協定締結

仙台市

専門技術力で迅速な復旧を



協定書を手にする高橋支部長と都市長

仙台市は2日、全国下水道コンサルタント協会（水コン協）東北支部と災害時における技術支

援協力に関する協定を締結した。仙台市役所で行われた締結式には郡和子市長、高橋都水コン協東北支部長（三協技術代表取締役）をはじめ、高橋新悦・水道事業管理者、村上貞則・建設局長など関係者が出席した。

協定は仙台市が所管する水道施設、下水道施設が被災した場合に、水コン協東北支部会員企業が、被災状況の調査業務や復旧にかかるコンサルタント業務を実施できるようにするもの。協定の締結により、迅速かつ確

実に上下水道施設の専門知識を有する業務委託者を選定し、業務を実施することが可能となる。

郡市長は東日本大震災の際にも水コン協が復旧・復興に尽力したことに對して感謝を伝えるとともに、「高い技術力と専門性を有する協会のみならず、協力の体制が確保されることは心強い。本市の災害対応力の強化に大きく寄与する」と期待を込めた。

高橋支部長は「当協会の会員20社が一丸となり、大規模災害発生時に仙台市の施設が被災した際には、これまで培った専門技術力を駆使し、被災状況の調査や復旧にかかるコンサルタント業務に迅速に対応したい。協定を機により一層の技術力の向上と災害時協力体制の強化に取り組んでいく」と応えた。

水コン協が災害時協定を締結するのは全国で13件目、東北地区では、宮城県企業局に次いで2件目となる。